2026 年 11 月 13 日

QC サークル本部幹事長　山ノ川 孝二

# 第 56 回全日本選抜大会審査結果発表時のコメント

QC サークル本部の山ノ川です。

発表サークルの皆様、そして、熱心に聴講いただいた皆様もお疲れ様でした。

さて、発表いただいた 16 サークルは、いずれも各支部推薦により、年 1 回の全日本選抜大会の場に、ファイナリストとして、臨んでいただきました。

審査委員会としましては、事前に提出された「支部からの推薦書」「活動状況説明書」「要旨集」「ワンポイントシート」を読み込み、各サークルの発表を聴かせていただきました。

審査基準は、本部規定にあります通り、

(1)運営の工夫／個の成長と活動の継続性・発展性（配点の目安は 40 点）

（これは、「活動が継続・発展できるような運営の工夫がなされているか」ということです。）

(2)改善事例の内容と成果（配点の目安は 40 点）

（適切なテーマで、内容のある確かな活動になっているか）

(3)発表の方法（配点の目安は 20 点）

（分かりやすい発表で、感銘を受けるような内容か）

というものです。

審査は、全国の支部長 9 名と、本部幹事 7 名の、計 16 名によって行いました。

各サークルの活動は、それぞれに創意工夫されて、確かな成果を挙げており、サークルの運営や改善内容は、甲乙つけ難く、いずれのサークルも、大いに参考になる取り組みやヒントにあふれていました。

審査に当たっては、各サークルが、運営、改善、いずれも、PDCA などのマネジメントサイクルをどう廻し、どのように成果をあげたかを、結果だけではなく、そのプロセスが分かるように論理的に分かりやすく説明していただけたか、サークルの活動の継続性・発展性が確かなものになっているかを評価させていただきました。

ここで、発表全体について、いくつかコメントさせていただきます。

まず、運営の工夫です。

いずれのサークルも、メンバーの意見引き出し、世代を超えた全員参加、意欲向上、能力発揮・成長、技能、伝承、活動活性化のために、多様な手法、ツール、メンバーへの働

きかけ、チームビルディングの様々な工夫が見られ、沢山の参考になるアイデアが紹介されました。

今回の発表サークルは、コロナ禍の時期を乗り越えたサークルが大多数ですが、そうしたサークルからはコロナ禍を乗り越えた知恵と自信を感じました。

そして、最近の AI の普及を背景に AI をうまく活用した活動例、ビークルエースサークルで紹介された「QC エージェント」などは、その一例だと思いますが、これからの QC サークル活動にとって、とても有効なツールになると考えます。

また、参考になりましたのは、自部門に止まらず、他部門、前後行程、他サークルの困りごとを知って交流し、連携・協力関係を深めた取組みがあり、組織全体の最適化に貢献する運営のお手本と言えます。

ぜひ、それらの効果的な工夫やヒントを、積極的に、取り込み、活用していただきたいと思います。

改善の取り組みについては、いずれも、三現、更には、5 ゲン主義が徹底されていましたが、要因の検証が若干端折られて、説明不足の感のあるケースもありました。

そして、各サークルの活動は、運営、改善に限らずですが、大会スローガン「みんなで楽しみ、喜び、成長し、もっと面白く、もっと良く！」を体現するような活動をされていることが印象に残りました。楽しみながら、運営の工夫を行う、楽しみながら、面白がりながら、改善を行う、そうした活動には「やらされ感」は微塵も感じられません。ぜひ、活動のプロセスを楽しむ活動をめざしていただきたいと考えます。

以上、いずれのサークルも、支部推薦を受けて全日本選抜大会に出場しており、会場の皆さんが聴講してお分かりの通り、それぞれに他の範となる活動を行っていることは、言うまでもありません。最優秀賞、優秀賞、特別賞、審査委員長のいずれであっても、今後とも他の模範となり、更に活動の良いところを伸ばし、活動の継続とレベルアップをめざしていただくことを期待して、この後、QC サークル本部長から授与されます。

審査結果は、当日、発表した通り、「QC サークル本部長賞最優秀賞」は「でんでんむし」サークルです。
それ以外のサークルには「優秀賞」が授与されます。

そして、運営特別賞として「ビークルエース」サークル、改善特別賞として「かがやき」サークルが、選ばれました。また、審査委員長賞として「カーペインターズ」サークルが選ばれました。

それでは、「最優秀賞」、「運営特別賞」、「改善特別賞」について、この場で主な受賞ポイントを説明します。

尚、本日発表された全サークルに対して、少し時間をいただきますが、審査委員である本部幹事から、各サークルの活動について、「良かった点」、「更に良くするために」という主旨のコメントをお送りする予定ですので、参考にしていただきたいと考えています。

＊＊＊「最優秀賞」の「でんでんむし」サークルの受賞ポイント＊＊＊

「行動・考動・共動」という段階的な人材育成のプロセスを構築し、心理的安全性を高めて、メンバーの主体性と問題解決能力を高めた点が大いに参考になります。 特に、自ら考えて行動する「考動」を促す具体的な施策を展開し、個人とサークルの成長につなげた点を高く評価します。 改善活動においても、計量値データに着目し、適切なグラフを使い分けながら現象を詳細に分析し、発生メカニズムを明らかにして対策を実施しています。人材育成と問題解決の両面で深く掘り下げた活動によって、QC サークル活動が続くサークルへの進化が図られたと思います。

＊＊＊「運営特別賞」の「ビークルエース」サークルの受賞ポイント＊＊＊

サークルのめざす方向性を明確にし、「褒め～るコーナー」や「褒め～るボード」を活用してメンバーの意欲と主体性を引き出し、世代間の連携と相互成長につなげた点が優れています。 また、知識技能を言語化し、QC エージェントとしてデジタル化した点も特徴的です。

＊＊＊「改善特別賞」の「かがやき」サークルの受賞ポイント＊＊＊

社内で同じ製品を生産している大阪工場のベンチマーク、動画解析、３現観察会、関連部門の巻き込みなどを効果的に行い、成果の水平展開もしっかり行っています。改善の４原則 ECRS の「排除」に着目し、既存の作業方法を廃止して冷やしバメに挑戦し 120 分の大幅削減に成功しましたが、高い志を持って、従来の考え方に囚われない挑戦の賜物だと考えます。

＊＊＊「審査委員長賞」の「カーペインターズ」サークルの受賞ポイント＊＊＊

「審査委員長賞」は、サークルの活動に目立った特色（良い点）があり、他のサークルを含めて今後の活動に参考になるポイントがあれば授与するものです。

| |
|---|
| 次期リーダーを１年間で育成するという取組みが報告されました。１年間という期間は、サークルの置かれたそのときの状況次第ですが、現実問題としていつでも起こりうることへの対応として、また、後継者育成と　　いう観点でも、参考になる取組みだと思います。<br>また、リーダーのメンバーへの関わり方として、「自分軸」から「相手軸」へのシフトという育成の考え方、そして、ポジティブシンキングという姿勢も大いに参考になると考えます。 |

以上です。

改めまして、発表いただきました全サークルに対して、感謝と敬意を表します。
今後とも、各サークルとメンバーの成長と、活動の更なる発展を期待しております。

以上